



## 2026年4月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年12月12日

上場会社名 株式会社ブッキングリゾート 上場取引所 東  
コード番号 324A URL <https://www.booking-resort.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 坂根 正生  
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 今井 裕二（TEL）06(6147)5481  
半期報告書提出予定日 2025年12月12日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年4月期第2四半期（中間期）の業績（2025年5月1日～2025年10月31日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期中間期	969	14.1	413	9.9	417	10.8	292	5.6
2025年4月期中間期	849	—	376	—	376	—	277	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期中間期	49.50	—
2025年4月期中間期	51.35	—

（注）1. 2024年4月期中間期については、中間財務諸表を作成していないため、2025年4月期中間期の対前年中間期増減率は記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

3. 当社は、2024年9月8日付で普通株式1株につき5,000株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、2025年4月期中間期の1株当たり中間純利益を算定しております。

### （2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2026年4月期中間期	2,867		2,193		76.5
2025年4月期	2,552		1,901		74.5

（参考）自己資本 2026年4月期中間期 2,193百万円 2025年4月期 1,901百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年4月期	—	0.00	—	—	—
2026年4月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年4月期の業績予想（2025年5月1日～2026年4月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,663	14.3	553	7.4	549	10.8	355	6.2	60.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年4月期中間期	5,914,800株	2025年4月期	5,914,800株
② 期末自己株式数	2026年4月期中間期	一株	2025年4月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年4月期中間期	5,914,800株	2025年4月期中間期	5,400,000株

(注) 当社は、2024年9月8日付で普通株式1株につき5,000株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定し、2025年4月期中間期の期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(2025年5月1日～2025年10月31日)におけるわが国経済は、各種政策の効果や雇用・所得環境の改善を背景に、持ち直しの動きがみられました。需要の底堅さを背景に緩やかな回復が見込まれる一方、海外景気の減速や地政学リスク、物価上昇の継続等により先行きの不透明感が残る状況です。

観光庁が公表した宿泊旅行統計調査(速報値)によると、2025年5月から2025年10月までの国内全体における延べ宿泊者数は3億4,016万人泊(前年同期0.9%減)となり、横ばいである一方、同期間の外国人延べ宿泊者数は8,760万人泊(前年同期5.3%増)と増加しており、訪日旅行需要は引き続き拡大傾向にあると考えられます。

このような環境の中、当社は「宿泊業界をUP DATEする」という理念を掲げ、集客力・開発力・運営力の3つを基盤として、顧客である宿泊施設の利益最大化に努めてまいりました。

集客支援事業におきましては、引き続き培った集客ノウハウを活かし掲載施設の売上最大化に注力した結果、掲載客室数は2025年10月末時点で2,852室(前事業年度比15.1%増)と順調に拡大しております。また、直営宿泊事業におきましては、施設運営のノウハウを蓄積する創造の場として顧客満足度向上につながるコンテンツ開発に励み、更なるノウハウ獲得に取り組んでまいりました。

これらの結果、当中間会計期間の売上高は969,318千円(前年同期比14.1%増)、営業利益は413,956千円(前年同期比9.9%増)、経常利益は417,501千円(前年同期比10.8%増)、中間純利益は292,840千円(前年同期比5.6%増)となりました。

なお、当社は集客事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当中間会計期間末における流動資産は1,752,744千円となり、前事業年度末と比較して329,226千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が234,207千円増加したこと、売掛金が95,536千円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は1,114,655千円となり、前事業年度末と比較して14,094千円減少いたしました。これは主に、本社移転に伴う敷金の計上等により投資その他の資産のうちその他の金額が13,480千円増加した一方で、減価償却費の計上等により有形固定資産が28,646千円減少したこと等によるものであります。

この結果、資産合計は2,867,399千円となり、前事業年度末と比較して315,132千円増加しております。

#### (負債)

当中間会計期間末における流動負債は359,135千円となり、前事業年度末と比較して62,227千円増加いたしました。これは主に、未払消費税等の増加等によりその他流動負債が26,693千円増加したこと、未払法人税等が20,963千円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は314,366千円となり、前事業年度末と比較して39,936千円減少しました。これは、1年内返済予定の長期借入金の振替により39,936千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は673,501千円となり、前事業年度末と比較して22,291千円増加しております。

#### (純資産)

当中間会計期間末における純資産は2,193,898千円となり、前事業年度末と比較して292,840千円増加いたしました。これは中間純利益の計上により、繰越利益剰余金が292,840千円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間末における現金及び現金同等物の残高(以下「資金」という。)は1,526,552千円となり、前事業年度末と比較して234,207千円増加いたしました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動の結果、増加した資金は292,562千円(前年同期間は280,017千円の増加)となりました。これは主に、税引前中間純利益417,501千円の計上、減価償却費の計上37,726千円、未払消費税等の増加26,639千円による収入と、売上債権の増加95,536千円、法人税等の支払額102,298千円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動の結果、減少した資金は18,418千円(前年同期間は125,607千円の減少)となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入8,911千円、差入保証金の差入による支出18,525千円、有形固定資産の取得による支出8,805千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動の結果、減少した資金は39,936千円(前年同期間は174,110千円の増加)となりました。これは、長期借入金の返済39,936千円による支出によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月期の業績予想については、2025年6月12日付で公表いたしました通期の業績予想より変更はありません。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当中間会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,292,344	1,526,552
売掛金	111,148	206,685
商品	145	346
原材料及び貯蔵品	2,197	2,277
前払費用	16,601	13,679
その他	1,871	3,681
貸倒引当金	△792	△478
流動資産合計	1,423,517	1,752,744
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	588,189	572,653
構築物（純額）	232,469	224,991
機械及び装置（純額）	14,472	13,025
車両運搬具（純額）	25,648	19,221
工具、器具及び備品（純額）	10,194	11,842
土地	201,374	201,374
建設仮勘定	—	594
有形固定資産合計	1,072,349	1,043,703
無形固定資産		
ソフトウェア	992	827
水道施設利用権	1,618	1,560
無形固定資産合計	2,610	2,388
投資その他の資産		
長期前払費用	10,918	9,677
繰延税金資産	10,888	13,422
その他	31,983	45,463
投資その他の資産合計	53,790	68,563
固定資産合計	1,128,750	1,114,655
資産合計	2,552,267	2,867,399

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当中間会計期間 (2025年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,301	4,348
1年内返済予定の長期借入金	79,872	79,872
未払金	58,727	71,434
未払費用	1,433	1,451
未払法人税等	114,798	135,761
預り金	1,844	2,486
賞与引当金	6,896	7,052
その他	30,035	56,729
流動負債合計	296,908	359,135
固定負債		
長期借入金	354,302	314,366
固定負債合計	354,302	314,366
負債合計	651,210	673,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,641	393,641
資本剰余金		
資本準備金	293,641	293,641
その他資本剰余金	350,000	350,000
資本剰余金合計	643,641	643,641
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	863,773	1,156,614
利益剰余金合計	863,773	1,156,614
株主資本合計	1,901,057	2,193,898
純資産合計	1,901,057	2,193,898
負債純資産合計	2,552,267	2,867,399

## (2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)	当中間会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)
売上高	849,369	969,318
売上原価	222,965	233,925
売上総利益	626,404	735,393
販売費及び一般管理費	249,887	321,436
営業利益	376,517	413,956
営業外収益		
受取利息	22	2,086
受取保証料	3,729	—
為替差益	—	2,001
雑収入	66	595
営業外収益合計	3,818	4,682
営業外費用		
支払利息	1,065	1,137
為替差損	332	—
上場関連費用	2,000	—
営業外費用合計	3,397	1,137
経常利益	376,937	417,501
税引前中間純利益	376,937	417,501
法人税、住民税及び事業税	102,400	127,195
法人税等調整額	△2,793	△2,533
法人税等合計	99,606	124,661
中間純利益	277,331	292,840



## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)	当中間会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	376,937	417,501
減価償却費	42,273	37,726
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	98	△314
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△633	156
受取利息	△22	△2,086
受取保証料	△3,729	—
支払利息	1,065	1,137
為替差損益 (△は益)	326	△2,005
上場関連費用	2,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△53,850	△95,536
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,729	△280
前払費用の増減額 (△は増加)	△13,831	4,163
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,269	1,047
未払金の増減額 (△は減少)	△9,667	12,706
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,398	26,639
未払法人税等(外形標準課税)の増減額 (△は減少)	9,433	△3,933
その他	1,532	△2,559
小計	354,870	394,363
利息の受取額	22	1,635
保証料の受取額	3,729	—
利息の支払額	△1,065	△1,137
法人税等の支払額	△77,539	△102,298
営業活動によるキャッシュ・フロー	280,017	292,562
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△121,405	△8,805
無形固定資産の取得による支出	△1,713	—
保険積立金の積立による支出	△2,488	—
差入保証金の差入による支出	—	△18,525
差入保証金の回収による収入	—	8,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,607	△18,418
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△25,890	△39,936
財務活動によるキャッシュ・フロー	174,110	△39,936
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	328,520	234,207
現金及び現金同等物の期首残高	257,782	1,292,344
現金及び現金同等物の中間期末残高	586,302	1,526,552

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社は、集客事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。